



* CONTENTS *

- ◆ メタボリズムの美学 / 丹波の森研究所を知っていますか…p2・p3
- ◆ 丹波青少年本部からのお知らせ / 森あそびのススメ…p4
- ◆ 生活創造ニュース(たんば.COM) / くらしあんしん…p5
- ◆ 丹波の森情報…p6
- ◆ 丹波年輪の里 / ささやまの森公園…p7
- ◆ 丹波並木道中央公園 / お知らせ / 森のクイズ…p8

「メタボリズムの美学」



丹波の森公苑長
丹波の森研究所長

中瀬 勲

新しい年度がはじまり2カ月程が過ぎ去ろうとしています。皆様方、各の場所で、新たな取り組みに着手されておられるものと存じます。

私事で恐縮ですが、42年間にわたる教育公務員の職を本年3月末で定年退職致しました。勤務の前半は、大学院を修了して直ぐに助手に採用して頂き、講師、助教として、日本の高度経済成長と共に、教育・研究に没頭していた感があります。勤務期間の後半は、成熟社会の中、大学と博物館を兼務する形で、生涯学習、環境学習、社会教育などに携わる機会を得ると共に、多自然居住、生物多様性、

公園マネジメント等の研究や世紀の恐竜の発見にも居合わせる事ができました。思い返してみますと、瞬時に過ぎ去った大変有意義な期間であったと感謝しています。

いざ定年となると寂しいものかなと思つていましたが、現実には、定年とは素晴らしい仕組みであるとしみじみと感じた次第です。退職をした組織では、人材が新陳代謝することによって、人材と組織そのものに新たな成長、発展が生じるものと確信しています。また、退職した本人にとつても、社会での再出発ということ、さらなる新たな進展が期待できるでしょう。定年とは、まさに、社会を、人生を円滑に循環される仕組みであると確認しました。

かつて、著名な建築家である黒

川紀章氏達が、日本や世界の都市や建築のあり方について議論した「メタボリズム（新陳代謝）の美学」という本がありました。この本を想い出しながら、この数年の間に、建築や都市だけではなく、人材のメタボリズムが大幅に進行してい

たものと感じています。それは、いわゆる団塊の世代が大量に第一線から退職したからです。この世代の第二の人生に大いに期待したいものです。組織に残っている方々、退職した方々、相互に刺激し合いながら、新たな成熟した社会を形成する絶好の機会であると思えます。

丹波では、退職を機に、故郷に戻つてもう働き、第二の人生をという方々も多くおられるのではないのでしょうか。これまで丹波で活躍、活動されてきた方々と共に、新しい発想や息吹を吹き込んで頂きたいものです。

丹波の森研究所を 知っていますか



たんちゃん丹波の森研究所と
いうのを知っておるか。



何をしているところなの？



丹波の森研究所は、平成8年4月に丹波の森公苑の開園とともに出来たんじゃ。丹波の森研究所では、地域の活性化、つまり地域が元気になるために地域の人たちと一緒に考えてる所なんじゃ。



うくん、たとえばどんなこと？



ずいぶん前になるが、「まちづくり」とも言うが、地域に住んでいる人たちが地域の問題や悩みごとをみんなて話し合いながら解決するんじゃ。だが話し合ってもなかなか解決できない問題がある場合、その解決のためのアドバイスをするのが丹波の森研究所の研究員じゃ。丹波の森研究所はこれまで100を超える地域で「地域づくり支援」をやっているのじゃ。



すーい。でもなんか難しそうね。あまり、楽しくなさそうね。

いやいや、楽しいこともあるぞ。例えば、地域の資源を見直して、地域づくりに活かす取り組みがある。例えば、昔はきれいな小川だったが、今はゴミであふれ、誰も見向きもしなくなった。この川をみんなで掃除し、また桜などを植栽することで、水がきれいになり、水草や小魚が生息するようになった。散歩やお花見などみんなの憩いの場になったという取り組みもあるぞ。

水遊びや魚とりもできそう！
みんなで行ってみたいなあ。

そうじゃろ。地域には、まだまだ知られていない「お宝」がいっぱいあるぞ。おいしい水が飲める所や、おいしい食べ物、いわゆるB級グルメじゃな、それから変わった形の石、由緒ある神社やお祭りなど、みんなが知らない地域の「お宝探し」をやってみんかあ。

おもしろそう！
どんなふうにしてやるの？



みんなで「まち歩き」
途中でお話を聞きました

そうじゃなあ、村のことをよく知っているお年寄りのお話を聞きながら、子供たちや大人たちとみんなでワイワイ話し合いながら歩くと、色んなものが見えてくるぞ。地図を見ながら歩くのも面白いぞ。また、写真を撮っておいて、地図に印を入れて、写真を貼ると自分たちだけの「お宝マップ」ができるぞ。そして、それを見ながら「なんか元気になる取り組みはないかなあ」と話し合うことが「地域づくり」となるんじゃ。こういう取り組みを「まち歩き」まちづくりというんじゃが、丹波の森研究所では、地域の人たちと一緒に取り組んでいこうと頑張っておるぞ。

丹波の森研究所では、こうした「地域づくり支援」のほかにも色んなことに取り組んでおるぞあ。

他にはどんなことがあるの？

たんちゃん、丹波市の川代渓谷で発見された「丹波竜」の化石のことは知っているじゃろ。化石は篠山市でも発見されており、この化石のある地層を篠山層群と言っんじゃよ。

丹波地域では、こうした化石を地域の活性化に活かせないかという思いから「たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会」を立ち上げ、丹波市と篠山市の60もの団体が共同で頑張っておるぞ。丹波の森研究所はこの取り組みにも支援しておるが、これとは別に「篠山層群ネイチャーミュージアム」づくりを力を入れておるぞ。篠山層群が広がる地域には、化石のほかにも特異

な地形や鉱山跡、珍しい植物、篠山層群の岩が風化した土壌に育つおいしい作物、またそこで生活している人たちの暮らしなど、色んなことを見たり、体験することができると。



写真を貼ってお宝マップづくり
「これ何の写真？」

だけど、どこに何があるのか、誰が教えてくれるのか分からないわ。

そうじゃな。だから丹波の森研究所では篠山層群を含む広い地域を一つの博物館（ミュージアム）と考えて、様々な展示物を地域で見たり、触ったり、食べたりできる場所やものに置き換えて、体験できる「自然・環境体験プログラム」づくりを考えておるぞ。

そのプログラムはできたの？

まだじゃが、これから地域のみんなと相談しながら、何がどんなふうに行えるか実験しながらプログラムづくりをすることにしておるぞうな。だから、丹波の森研究所の研究者も地域の人たちと共同でプログラムづくりの実験ができることを楽しみにしているぞうだ。

私も楽しみだな。プログラムの実験があるときは教えてね。

プロフィール

たんちゃん

丹波地域に住む、小学4年の元気な女の子。ふくろう爺さんと話すうちに、丹波地域や地域づくりのことがだんだんわかり、おもしろくなってきた。

ふくろう爺さん

丹波の森に長く棲み、丹波地域を見つづけてきた長老のふくろう。地区ごとの地域づくりをあたたかく見守りながら、エールを送っている。

地域づくりは、地域の課題の解決と望ましい将来像の実現にむけて、地域の資源（人・モノ・カネ・情報など）をいかして地域住民の皆さんが持続的に取り組むことです。兵庫丹波の森協会／丹波の森研究所は、支援が必要な地区の勉強会や計画づくりなどに研究員がかけたり、ご相談に応じます。

問い合わせなど、ご連絡は
兵庫丹波の森協会（門上）へ
TEL:078-920-0000
TEL/FAX:078-920-0000
E-mail: mori-kenkyu@tanba-mori.or.jp

丹波青少年本部からのお知らせ

二人の出会いを応援します

結婚につながる出会いの機会を提供しています。
(年会費：3,000円)

1対1でじっくり「お見合い」してみませんか？どうぞお気軽に、相談・登録・閲覧をご予約ください。

みなさまのお越しをお待ちしています。



※プライバシー保護のため、相談・登録・プロフィールの閲覧等は予約制とさせていただきます。

◆お問い合わせ:

丹波出会いサポートセンター(丹波の森公苑内)
TEL:0795-78-9130

たんば子ども塾

夏休みに、小学生が丹波地域の各高校をまわり、科学実験やコミュニケーションゲームなど、学校では普段しないような内容の講座を教わります。

夏休みを、楽しい思い出でいっぱいにしましょう！ぜひ参加してください。

※詳しくは、チラシまたはHPをご覧ください。



◆お問い合わせ: 丹波青少年本部
TEL:0795-72-5168

森あそびのススメ —紫陽花—

アジサイ(紫陽花)は梅雨を代表する花、そして、雨がとても似合う花です。学名も「水の器」と言います。園芸種のアジサイを西洋アジサイということがありますが、江戸時代に日本のアジサイが中国経由でヨーロッパに渡り、それが品種改良され日本に逆輸入されたものです。当時「東洋のバラ」と呼ばれ、とても人気があったようですがルーツは日本のアジサイということです。

アジサイの野生種にはヤマアジサイ、ガクアジサイ、タマアジサイなどいろいろな種類があります。花祭りのアマチャ(甘茶)もアジサイの仲間です。最近では、葉がカシワの葉に似た北米原産のカシワバアジサイが人気のようです。花は白く円錐状でボリュームがあって見栄えがします。

アジサイの花言葉は、「移り気」「変節」などあまりよい意味に使われていませんが、アジサイの花の色が刻々と変わっていくので、このような花言葉がつけられたのでしょう。ところで、アジサイの花の色は、土壌が酸性ならば青色、アルカリ性ならば赤色と言われます。実際はなかなか複雑で、土壌のphやアルミニウムイオン、また、栄養状態、根の張り具合、花そのものの個性などが関係しているようです。

アジサイは水揚げが悪く、花を生けるときには少し工夫が必要です。いろいろな方法がありますが、手っ取り早いのは、茎を十文字に切って髄(白くなっている部分)を1~2cmほど取り除いてやる方法です。簡単ですので試してください。

丹波の森公苑にもアジサイがあります。梅雨に似合うアジサイを楽しんでください。



アジサイ



アマチャ(甘茶)



カシワバアジサイ

参考: 夏の山野草と樹木550(講談社) 樹木たちの歳時記(講談社) 日本の樹木(山と溪谷社)

田舎暮らし体験施設がオープンしました

丹波地域で増加する空き民家を地域資源として再生・活用することにより、都市住民の定住や都市との交流を促進し、地域の活性化を図るため、地域が主体となって整備を進めてきた「田舎暮らし体験施設」が丹波市と篠山市に相次いでオープンしました。

田舎暮らしに興味のある方にお試し滞在や農作業等の体験プログラムを提供するほか、地域コミュニティの交流活動拠点としても活用していきます。

お試し滞在をきっかけに、丹波地域の良さを実感し、定期的な交流や定住に繋がることを期待しています。

施設の紹介

篠山市福住地区

【篠山暮らしお試し住宅「福住 わだ家」】

- ・場所……篠山市福住377番地
- ・施設概要……築約100年 木造瓦葺き一部二階建 約183㎡
和室、洗面・浴室、水洗トイレ、キッチン、ピザ窯
- ・利用料……月額35,000円～（光熱水費別）
- ・問い合わせ先……福住地区田舎暮らし体験住宅運営委員会
(TEL・080-4024-2072)



丹波市神楽地区

【菅原体験古民家「かじかの郷」】

- ・場所……丹波市青垣町稲土287番地
- ・施設概要……築120年 木造茅葺き(アルミ屋根)平屋建 約187㎡
和室、囲炉裏の間、洗面・浴室、水洗トイレ、キッチン、土間サロン
- ・利用料……月額35,000円（光熱水費別）
- ・問い合わせ先……一般財団法人 神楽自治振興会
(TEL・0795-87-5808)



宅配便でお金を送らないで!

相談事例

B社から「A社のパンフレットが届いていないか」と電話があった。届いていると答えると、「A社の社債を購入したい。代金はこちらで支払うので代わりに申し込んでほしい」と言われたので、FAXでA社に申し込んだ。その翌日、A社から電話があり、「B社から代金が振り込まれたが、名義貸しは問題だ。このままだとあなたは罪に問われることになる。至急現金で1,000万円を送ってほしい。宅配便で商品は衣類と書くように」と指示され指定された住所に送った。その後騙されているのではと心配になった。返金してほしい。(70歳代 女性)

アドバイス

このような手口は「買え買え詐欺」と言われるものです。社債などの金融商品を代理で購入することはできません。「選ばれた人にだけパンフレットが送られている」などと言葉巧みにその気にさせ、申し込んだ後に問題が起こった等と難癖をつけお金を支払わせるという悪質な手口です。

また、宅配便で現金を送るよう指示すること自体、通常ではありえません。郵便法では「現金書留」で送ることが義務づけられており、万が一のことがあ

ても保証されません。しかも、銀行振り込みの場合は口座凍結の処置をすることができますが、宅配便で「衣類」、「化粧品」などと事実と違うものを記入してお金を送ってしまうと証拠が残らず、お金を取り戻すことが極めて困難になります。

困ったときは、消費生活センターにご相談ください。

出前講座実施中(費用無料)

職員が自治会や老人会などの集会に出向いて、わかりやすく事例を紹介しながら、悪質商法等の被害防止を呼びかける「出前講座」を行っていますので、ぜひご利用ください。

丹波消費生活センター(丹波の森公園内)
TEL(0795)72-0999 FAX(0795)72-0899

講座「丹波学」 “戦国の世と丹波～戦乱を駆け抜けた武将たち～”

「戦国・武将・丹波」をテーマに、戦国時代史研究の第一人者である小和田哲男氏をはじめ、著名な講師を招き、戦国武将の生き方やその時代の文化について学ぶ講義を展開します。

- と き：8月31日(土)～12月7日(土) 5回シリーズ
- ところ：丹波の森公苑多目的ルーム
- 内 容：「丹波の街道から戦国の世を偲ぶ」
「三強と呼ばれた丹波の武将達」
「戦国時代の長寿メン」など
- 定 員：80人 ●受講料：5,000円 ※受講生募集中



19th丹波の森国際音楽祭
シューベルティアーデたんば2013

オープニング・サロンコンサート

- と き：9月7日(土) ①13:00～
②15:30～
- ところ：お菓子の里丹波 ミオール館
- 出演者：松原友(テノール)※今年のフランツ
畑儀文(テノール) ほか
- 料 金：3,000円(当日3,500円) ※ケーキ・お茶付き



ファイナルコンサート

- と き：11月16日(土) 14:00～
- ところ：丹波の森公苑ホール
- 出演者：松原友(テノール)、畑儀文(テノール)
児玉晃(バリトン)、篠部信宏(バス)
ヴィタリー・ユシュマノフ(バリトン)
アレクサンダー・シェフチェンコ(バヤーン) 他
- 料 金：大人2,500円(当日3,000円)
中高生1,000円(当日1,500円)
小学生無料

丹波の森演劇祭
「丹波の森子どもミュージカル体験塾」

小学生から高校生までの子どもたちが、演技を基礎から学び、プロの俳優と共演するための本格的な「歌」「ダンス」のレッスンを重ね、感動いっぱいの発表公演を行います。



レッスン

- 期 間：7月25日(木)～10月19日(土)の15回
- 体験塾生：(対 象)小・中・高校生
(定 員)30人
- 参加費：5,000円

発表公演

- と き：10月20日(日)
- と ころ：丹波の森公苑ホール
- 演 目：「オズの魔法使い」
(劇団ウエストオリジナル)
- 入 場 料：大人1,000円、高校生以下500円
※体験塾生募集中

丹波の森美術学校・大学連携講座

大学教授等の企画・監修のもと、大学生とふれあいながらパソコンを使用した専門性の高い作品制作を行い、美術の楽しさと奥深さを体験できます。



- と き：8/10(土)・8/11(日)
1日で作品を完成させます。
- ところ：丹波の森公苑 セミナー室
- 参加費：1,000円
- 内 容：映像やアニメーションを専門に学ぶ大学生と一緒にパソコンで映像作品をつくります。
(講 師)宝塚大学 教授、学生
(対 象)小学5・6年生、中学生、高校生
(定 員)各日15人

※受講生募集中

兵庫県立大学特別公開講座

「地震・津波などの自然災害がもたらす被害と備え」をテーマに、日常生活との関わりの中で自然災害を学ぶ講義を行います。

- と き：7月20日(土)～9月21日(土)
6回シリーズ
- ところ：丹波の森公苑セミナー室ほか
- 内 容：「丹波地域で想定される自然災害と原発事故に伴う放射線災害」など
- 定 員：40人 ●受講料：5,800円
※受講生募集中

木工クラフトの拠点 丹波年輪の里

第26回 丹波の森 ウッドクラフト展

(木のおもちゃ大賞展) 作品募集

一般の部
グランプリ賞金
50万円!

丹波の森ウッドクラフト展は
木工クラフトの全国公募展です。

木のぬくもりあふれる「おもちゃ」を募集します。
(ジュニアの部はおもちゃに限定しません)
一般の部：平成25年7月2日～8月15日消印有効
ジュニアの部：平成25年7月2日～9月15日消印有効
主催・丹波の森ウッドクラフト展実行委員会
http://nenrin.org/w_craft/



つくって飛ばそう 竹とんぼ大会



8月25日(日) 10:00～16:00

対象:自作の竹とんぼで参加できる方

(前日24日に教室を開きます)

参加費:1,000円(中学生以下無料)

夏休み工作教室



7月27日(土) 10:00～16:00

木のおもちゃ

「はしごだるま」をつくろう!

定員:10組、参加費:2,400円

みんなで 絵本を楽しもう



絵本の読み聞かせや紙芝居、
牛乳パック工作など
8月3日(土) 13:30～16:00
定員:15名、参加費無料

お問い合わせ先

～12種類の選べる楽しいクラフトメニューをはじめ、小さなアクセサリから木のおもちゃ、家具作りまで、工具や材料をご用意してスタッフ一同皆様のお越しをお待ちしています～

みんなの工作室 丹波年輪の里

〒669-3312 兵庫県丹波市柏原町田路 102-3

TEL.0795-73-0725 FAX.0795-73-0727

URL <http://nenrin.org/> E-mail: mail@nenrin.org

開館時間 9:00～21:00(工作受付は16:00まで)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)

入館無料

工作室使用料一般100円、中学生以下50円(材料費別途要)

団体貸切要予約

兵庫県自然活用型野外CSR事業

ささやまの森公園

定例プログラム



平成25年 6月29日(土)

里山伝承～黒豆を栽培して味わおう～

第一回内容: 苗の定植

7月

- ・竹の風鈴作り
- ・ヒメボタルの光を見よう
- ・ささやまの森探検隊



8月

- ・水辺の生きものを探そう
- ・キャンプご飯
- ・そば道場シリーズ
～第1回種まき～
- ・草木染め教室



9月

- ・竹炭と竹の花器を作ろう
～第1回 竹伐採と竹割り～



ささやまの森公園

〒669-2512 兵庫県篠山市川原511-1 TEL079(557)0045/FAX079(557)0201
URL:<http://www.sasayamanomori.jp/> E-mail:csr@sasayamanomori.jp



兵庫県立 丹波並木道中央公園



公園のイベント

■ノルディックウォーキング：毎月1回程度開催

■花と緑の教室：毎月1回開催

■木工教室

大人の木工教室 毎月第1土曜日、毎月第3土曜日 10時～15時

子どもクラフト 毎月第4土曜日 13時30分～15時

*親子活動などでの団体受付は随時

■プリザーブドアレンジメント：年に4回程度開催

■夏休みスペシャルイベント（7月下旬～8月）

貯金箱作り、シャミレレ（間伐材のオリジナル楽器）、

昆虫観察会など

その他イベント盛りだくさん！

詳細は公園のHPまたは、
広報紙「PARK LIFE」をご覧ください。



公園のローラーすべり台



■地図■

自動車：舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口I.C」から約5分

電車：JR福知山線「丹波大山駅」から徒歩10分

兵庫県立丹波並木道中央公園

〒669-2221 兵庫県篠山市西古佐90番地

TEL 079-594-0990 (8:30～17:30)

FAX 079-594-0991

駐車場利用時間：8時～17時30分

入園料、駐車場とも無料

HP <http://www.hyogo-park.or.jp/tanba/>
Twitter namiki_michi



木の万華鏡(子どもクラフト)

丹波の森大学 「公開講座」のお知らせ

兵庫丹波の森協会では、「最前線を語る」を本年度の学習の基本テーマに「丹波の森大学」を開催いたします。公開講座では、奇跡の星の植物館プロデューサー、辻本智子氏を講師としてお迎えします。ぜひご聴講ください。

●日時：平成25年8月30日（金）午後1時30分～

●場所：篠山市民センター 催事室

丹波の森公苑をご利用ください！

丹波の森公苑では、ホールや会議室、グラウンドやテニスコートなどの施設をご利用いただけます。グループ活動や研修などにご利用ください。

開苑時間 9時～22時

(グラウンド、テニスコートは17時まで)

休苑日 月曜日(祝日の場合はその翌日)

使用料など詳しいお問い合わせは、丹波の森公苑管理課へ。
ご利用をお待ちしています。

TEL (0795) 72-2127 (代)

ホームページアドレス <http://www.tanba-mori.or.jp>



好評
発売中

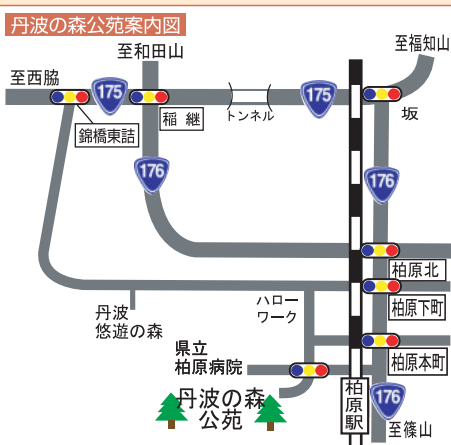
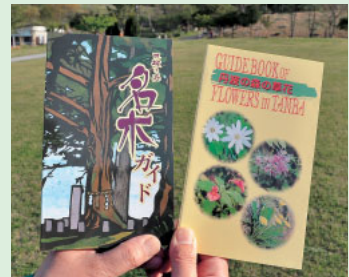
兵庫丹波の森協会発行「丹波の森名木ガイド」「丹波の森の草花」

兵庫丹波の森協会または下記取扱所でお買い求めください。

篠山市内 小山書店、王地山公園ささやま荘、
篠山観光案内所、城東公民館

丹波市内 道の駅「丹波おばあちゃんの里」、
かいばら観光案内所

【お問い合わせ】兵庫丹波の森協会 Tel.(0795) 73-0933



(公財)兵庫丹波の森協会 丹波の森公苑

〒669-3309

丹波市柏原町柏原5600

Tel.0795-72-2127

Fax.0795-72-5164

<http://www.tanba-mori.or.jp>

E-mail:morikoen@hk.sun-ip.or.jp

印刷 ウニスガ印刷株式会社

森のクイズ

外国からやってきた動物を外来動物といいますが、「特定外来生物」の指定を受けると、法律により個人で飼育することはもちろん、販売や運搬などが原則禁止されます。下記の外来動物の中で、その指定を受けていないもの一つを選んでください。

- ①ウシガエル ②アメリカザリガニ
- ③ブラックバス ④アライグマ ⑤ブルーギル

正解者には抽選の上、協会から記念品をプレゼントします。
クイズの答えと住所、氏名、ご意見などを書いてハガキで
事務局までお送りください。(〆切7月31日)